

令和8年度 包括的性教育シンポジウム アンケート結果

開催日時：令和8年9月12日（土） 13：00～16：00

場所：リンクステーションホール青森 5階 大会議室

講師：埼玉医科大学 医療人育成支援センター・地域医学推進センター 助教 高橋 幸子

座長：あおもり女性ヘルスケア研究所 所長 蓮尾 豊

シゴジスト：①青森県教育庁スポーツ健康課 指導主事 丹代 菜々

：②青森県医師会 常任理事 後藤 高志

：③青森県看護協会思春期応援隊 隊長 坂野 利智子

：④青森県助産師会 会長 三浦 初枝

：⑤むつ市こどもみらい部子育て支援課 課長 辻 郁子

参加者計：37名

アンケート回収：23件 回収率：62%

1 年齢

30代	4
40代	6
50代	11
60代以上	2
合計	23

2 職種

看護職	20
教員	2
保育士	1
合計	23

3 満足度

非常に良かった	9
良かった	12
普通	1
あまり良くなかった	1
合計	23

4 ご意見・ご感想

大変よい研修でした。これを機に他部門が連携し、発展していけたらよいと思いました。
青森県内で行っている包括的性教育について学ぶことができました。貴重なお時間ありがとうございました。
未就学児の心と体の健康教室も県の事業として活動できるようになればいいですね。
プレコンセプションケアを現場の病院内で立ち上げていきたいと感じました。既に医師が着手しようとしていました。熱意のある講義は聴講している側を奮い立たせてくれるのだと実感しています。ありがとうございました。
全体を通して「教育」についての大切さと関係各方面の縦横の連携がキーポイントだと痛感しました。今回の学びを職場でも活かして、子どもの成長と健康を見守りたいと思います。
とても学びのある研修でした。講師の先生のお話をしっかり聴きたくて一番前の席で前のめりで聴いていました！同じ目的をもつ先生方やコメディカルの方々の情報交換もできました。企画してくださり、ありがとうございました！
内容が、多岐、他職種に渡り、総論的内容で終わってしまったので、シリーズ毎に、回数を増やすなど企画をしてもらえたら嬉しいです。行政の方と、現場の声を同時に聞く研修は、少ないので違った形でいいのでは是非企画してほしいです。
さっこ先生の話をもっと聞きたかった。助産師会や思春期応援隊の話は活動内容より、困っていることや今後の方針について聞いてみたいと思った。
女子（女兒）への性教育は婦人科領域があるのだが、男子は専門領域が存在しないため、その部分のアプローチも考えられるのではないかと感想を持った。例えば、性感染症の場合は「女子＝産婦人科」となるが、「男子＝泌尿器科」となるだろうか？など…両性での教育が必要だし、先進国はどのような事例があるか知りたいとも思った。
産婦人科校医制度の現状、問題点を知ることができました。むつ市の取り組みの中の「こどもの声を聴くことから始まり」が印象に残りました。「声を聴くこと」は当たり前だと思っていましたが、改めて話しても良い環境を整えること、こどもの反応や理解を確認すること等の基本的なことの重要性がわかりました。
さっこ先生の講義は、とても楽しくもっと学びたい、まだまだ聞いていたいと思いました。青森県の性教育の全貌がやっと理解できたような気がします。各団体がそれぞれの特色を生かしながら活動の担当を決め、子供の年齢に合わせて螺旋状に包括的性教育を行うという共通認識を持てたような気がしました。これが実現し、青森県全域に包括的性教育が行き渡るといいなと思います。
高橋先生のお話はとてもわかりやすく、相手に伝わる話方でした。私自身学生の時に性教育を受けた記憶がないので、自分の子どもに上手く伝えられていなかったと思います。包括的性教育、プレコンセプションケア等の研修を受けて、とても必要なことだと痛感しています。
多くの方に聴いて欲しかったとても大事な講演でしたし、シンポジウムでした。次回、医療・看護職のみならず、行政、教育、保育、福祉、県民など皆さんに聴いていただく機会があればと思います。看護協会には要望したいと思います。助産師会の資料、間に合わなくて無しというのはどういうことでしょうか。それは参加者にとっても失礼なことと思います。後日、配信とか、どうかしていただきたいと思います。ご検討よろしくお願いします。

5 今後の方向性

今回初めて包括的性教育をテーマに開催したシンポジウムであったが、各団体が行っている活動内容を共通理解するきっかけづくりになった。

子どもたちの教育現場における行政としての考え方や方針が今後の活動に大きく影響することを考慮すれば、県や市町村への働きかけは欠かせないと思う。子どもたちへの関わりの中で、助産師の専門性をどのように発揮していくかを協会として協議していく必要がある。

